

2024年11月8日

上場会社名 原田工業株式会社  
コード番号 6904 URL <https://www.harada.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三宅 康晴

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 上條 洋一

TEL 03-3765-4321

半期報告書提出予定日 2024年11月8日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年4月1日～2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	23,176	1.8	1,506	140.8	1,252	290.5	618	75.8
2024年3月期中間期	22,762	15.9	625		320		2,555	

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 2,875百万円 (12.3%) 2024年3月期中間期 3,278百万円 (221.3%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	28.44	
2024年3月期中間期	117.51	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	39,029	14,462	37.1	664.91
2024年3月期	37,598	11,913	31.7	547.72

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 14,462百万円 2024年3月期 11,913百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		15.00	15.00
2025年3月期		0.00			
2025年3月期(予想)				7.50	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2024年3月期期末の内訳 普通配当7円50銭 特別配当7円50銭

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	10.6	700	31.8	500	3.6	100	88.7	4.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	21,758,000 株	2024年3月期	21,758,000 株
期末自己株式数	2025年3月期中間期	7,268 株	2024年3月期	7,268 株
期中平均株式数(中間期)	2025年3月期中間期	21,750,732 株	2024年3月期中間期	21,750,752 株

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	5
中間連結損益計算書 .....	5
中間連結包括利益計算書 .....	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(中間連結損益計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における世界経済は、高インフレの落ち着きなどを背景に、底堅い成長を維持した一方、金融市場や政策運営を巡る不確実性が高まっている他、金融市場の一段の不安定化、中東情勢を中心とする地政学リスクの更なる悪化、中国経済の失速等、世界経済に対する悪影響要因も数多く存在し、引き続き、先行き不透明な状況となっております。

当社グループの属する自動車業界におきましては、前年同期比ではわずかに増産となったものの、コロナ禍以前の自動車生産台数を回復するまでには至っておらず、また材料費や労務費の高騰、輸送費の高止まりに加え、為替の影響等もあり、依然として大変厳しい事業環境となっております。

このような外部環境の変化及び足元の状況に鑑み、2023年度より、「各ビジネスの収益性改善」、「コスト構造改革」、「B/Sのスリム化による収益改善・財務体質改善」を強力に推進する「収益構造改革」に集中して取り組んでまいりました。

一方、中長期的な視点では、CASE（コネクテッド、自動運転、シェアリング、電動化）の進展等を含め、自動車業界を取り巻く環境は変化しております。このような環境の変化に鑑み、中長期経営の方向性として、目指す姿を「当社は、車載アンテナのトップ企業であり続けます。また、周辺事業を拡大していくことにより収益基盤を確立します。加えて、当社技術を活用し、新規事業分野を開拓します。」と定め、CASEとモビリティの多様化という二つの大きな社会的課題に対し、積極的に対応してまいります。

このような方向性のもと、当中間連結会計期間における売上高は、世界の自動車生産台数が前年同期比で増産となったことや、従前からの販売活動を強化・継続するとともに、車載アンテナ周辺領域における関連機器の製造・販売を強化し、加えて販売価格の適正化等に取り組んだ結果、231億76百万円（前年同期比1.8%増）となりました。利益面については、材料費や労務費の高騰等により大変厳しい状況が続いておりますが、「収益構造改革」に集中して取り組んだ結果、営業利益は15億6百万円（前年同期比140.8%増）となり、経常利益は12億52百万円（前年同期比290.5%増）となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期に計上した遊休資産の譲渡に伴う固定資産売却益が当期は発生していない他、法人税等の影響により6億18百万円（前年同期比75.8%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### ①日本

日本市場における自動車生産台数は減少したものの、拡販活動等により、外部売上高は85億11百万円（前年同期比3.3%増）、セグメント間の内部売上高は9億70百万円（同15.2%増）、営業利益は9億43百万円（同57.2%増）となりました。

#### ②アジア

自動車生産台数は中国市場では回復したものの、ASEAN市場での減少や為替の影響等により、外部売上高は36億57百万円（前年同期比6.3%減）、セグメント間の内部売上高は96億85百万円（同14.2%増）、営業利益は81百万円（前年同期は営業損失5億99百万円）となりました。

#### ③北中米

北中米市場における自動車生産台数の回復や為替の影響等により、外部売上高は83億28百万円（前年同期比16.9%増）、セグメント間の内部売上高は39百万円（同98.2%増）、営業利益は6億61百万円（同33.8%増）となりました。

#### ④欧州

欧州市場における自動車生産台数の減少や為替の影響等により、外部売上高は26億78百万円（前年同期比23.3%減）、セグメント間の内部売上高は3億81百万円（同55.0%減）、営業損失は63百万円（前年同期は営業利益36百万円）となりました。

なお、セグメントの売上については外部顧客に対する売上高とセグメント間の内部売上高を記載しております。

## （2）財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

#### （資産）

当中間連結会計期間末における流動資産は283億49百万円（前連結会計年度末273億93百万円）となり、9億55百万円増加いたしました。これは主に「現金及び預金」が2億39百万円、「商品及び製品」が1億97百万円、「受取手形、売掛金及び契約資産」が1億91百万円増加したことによるものであります。固定資産は106億80百万円（前連結会計年度末102億5百万円）となり、4億75百万円増加いたしました。これは主に「有形固定資産」が3億12百万円、「投資その他の資産」が1億79百万円増加したことによるものであります。この結果、総資産は390億29百万円（前連結会計年度末375億98百万円）となり、14億30百万円増加いたしました。

#### （負債）

当中間連結会計期間末における流動負債は226億20百万円（前連結会計年度末237億20百万円）となり、11億円減少いたしました。これは主に「短期借入金」が6億54百万円増加したものの、「未払法人税等」が6億4百万円、「その他」が5億77百万円、「電子記録債務」が3億77百万円、「支払手形及び買掛金」が2億9百万円減少したことによるものであります。固定負債は19億46百万円（前連結会計年度末19億63百万円）となり、17百万円減少いたしました。これは「退職給付に係る負債」が14百万円増加したものの、「その他」が31百万円減少したことによるものであります。この結果、負債合計は245億67百万円（前連結会計年度末256億84百万円）となり、11億17百万円減少いたしました。

#### （純資産）

当中間連結会計期間末における純資産合計は144億62百万円（前連結会計年度末119億13百万円）となり、25億48百万円増加いたしました。これは主に「為替換算調整勘定」が22億63百万円増加したことによるものであります。

### ②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して2億39百万円増加し、53億80百万円（前連結会計年度末比4.6%増）となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、「法人税等の支払額」15億14百万円、「仕入債務の増減額」13億21百万円等の減少要因がありましたが、「税金等調整前中間純利益」12億51百万円、「棚卸資産の増減額」10億22百万円、「減価償却費」7億円等の増加要因により、1億54百万円の収入（前年同期は15億96百万円の収入）となりました。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、「有形固定資産の取得による支出」3億47百万円、「その他」2百万円の減少要因により、3億49百万円の支出（前年同期は28億68百万円の収入）となりました。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、「短期借入金の返済による支出」551億6百万円、「配当金の支払額」3億24百万円、「リース債務の返済による支出」1億53百万円の減少要因がありましたが、「短期借入れによる収入」556億37百万円の増加要因により、52百万円の収入（前年同期は49億91百万円の支出）となりました。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間の業績予想と実績値に差異が生じております。また、2025年3月期通期の連結業績予想値を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「2025年3月期第2四半期（中間期）の業績予想と実績値との差異及び通期の業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,141,744	5,380,764
受取手形、売掛金及び契約資産	7,952,700	8,144,629
商品及び製品	6,058,584	6,256,157
仕掛品	691,625	738,455
原材料及び貯蔵品	6,397,081	6,431,469
その他	1,212,232	1,474,684
貸倒引当金	△60,806	△77,095
流動資産合計	27,393,161	28,349,066
固定資産		
有形固定資産	6,380,535	6,692,805
無形固定資産	97,829	80,695
投資その他の資産		
その他	3,738,158	3,918,426
貸倒引当金	△11,323	△11,638
投資その他の資産合計	3,726,835	3,906,788
固定資産合計	10,205,199	10,680,288
資産合計	37,598,361	39,029,355
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,784,855	2,575,147
電子記録債務	835,082	457,330
短期借入金	14,866,004	15,520,213
未払法人税等	1,671,099	1,066,739
賞与引当金	331,725	334,312
役員賞与引当金	—	12,000
その他	3,232,223	2,654,732
流動負債合計	23,720,989	22,620,475
固定負債		
退職給付に係る負債	554,119	568,314
その他	1,409,859	1,378,312
固定負債合計	1,963,978	1,946,626
負債合計	25,684,968	24,567,102
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,019,181	2,019,181
資本剰余金	1,859,981	1,859,981
利益剰余金	6,731,654	7,023,966
自己株式	△2,486	△2,486
株主資本合計	10,608,331	10,900,643
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	111,332	110,374
為替換算調整勘定	1,298,906	3,562,860
退職給付に係る調整累計額	△105,178	△111,625
その他の包括利益累計額合計	1,305,061	3,561,609
純資産合計	11,913,392	14,462,253
負債純資産合計	37,598,361	39,029,355

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	22,762,292	23,176,431
売上原価	18,460,677	18,086,330
売上総利益	4,301,614	5,090,101
販売費及び一般管理費	3,676,005	3,583,586
営業利益	625,609	1,506,515
営業外収益		
受取利息	22,144	26,182
還付加算金	4,398	14,439
その他	64,067	28,206
営業外収益合計	90,610	68,828
営業外費用		
支払利息	349,658	261,899
その他	45,853	61,021
営業外費用合計	395,511	322,920
経常利益	320,708	1,252,423
特別利益		
固定資産売却益	※ 3,391,568	90
特別利益合計	3,391,568	90
特別損失		
固定資産売却損	—	389
固定資産除却損	1,100	278
その他	—	0
特別損失合計	1,100	668
税金等調整前中間純利益	3,711,177	1,251,845
法人税、住民税及び事業税	1,216,210	663,209
法人税等調整額	△60,899	△29,936
法人税等合計	1,155,310	633,272
中間純利益	2,555,866	618,573
非支配株主に帰属する中間純利益	—	—
親会社株主に帰属する中間純利益	2,555,866	618,573

## (中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	2,555,866	618,573
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44,896	△958
為替換算調整勘定	677,625	2,263,954
退職給付に係る調整額	348	△6,447
その他の包括利益合計	722,871	2,256,548
中間包括利益	3,278,737	2,875,121
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	3,278,737	2,875,121
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	3,711,177	1,251,845
減価償却費	668,309	700,481
支払利息	349,658	261,899
売上債権の増減額 (△は増加)	△133,699	304,204
棚卸資産の増減額 (△は増加)	2,816,183	1,022,695
仕入債務の増減額 (△は減少)	△920,604	△1,321,130
為替差損益 (△は益)	△584,720	152,445
その他	△3,485,134	△492,259
小計	2,421,170	1,880,182
利息の支払額	△372,871	△239,322
法人税等の支払額	△479,814	△1,514,858
その他	27,593	28,531
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,596,077	154,532
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△421,656	△347,325
その他	3,290,360	△2,116
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,868,703	△349,442
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	39,355,421	55,637,029
短期借入金の返済による支出	△43,531,404	△55,106,244
リース債務の返済による支出	△207,510	△153,047
長期借入金の返済による支出	△500,000	—
配当金の支払額	△108,252	△324,907
その他	△40	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,991,785	52,830
現金及び現金同等物に係る換算差額	323,522	381,098
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△203,481	239,020
現金及び現金同等物の期首残高	5,948,770	5,141,744
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,745,289	5,380,764

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結損益計算書に関する注記）

※ 固定資産売却益

前中間連結会計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

当社及び当社連結子会社所有の不動産等を譲渡したことによる固定資産売却益を特別利益に計上したものであります。

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北中米	欧州	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	8,238,712	3,904,790	7,126,455	3,492,334	22,762,292	—	22,762,292
セグメント間の内部売上高又は振替高	842,582	8,478,081	20,168	847,453	10,188,285	△10,188,285	—
計	9,081,294	12,382,871	7,146,624	4,339,787	32,950,578	△10,188,285	22,762,292
セグメント利益又は損失 (△)	600,348	△599,923	494,685	36,327	531,438	94,171	625,609

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額94,171千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北中米	欧州	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	8,511,630	3,657,980	8,328,378	2,678,442	23,176,431	—	23,176,431
セグメント間の内部売上高又は振替高	970,531	9,685,733	39,982	381,508	11,077,755	△11,077,755	—
計	9,482,161	13,343,713	8,368,360	3,059,951	34,254,187	△11,077,755	23,176,431
セグメント利益又は損失 (△)	943,470	81,709	661,995	△63,112	1,624,062	△117,547	1,506,515

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△117,547千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。